

- ◎思想善導ニ關スル件 (大正九年九月九日學第四五六八號)……………(一七)
- ◎青年團及處女會ニ關スル件 (大正十一年三月二十八日學第四三八二號)……………(一九)
- ◎未成年者飲酒禁止法ニ關スル件 (大正十一年六月二十日學第三〇六一號ノ一)……………(二二)
- ◎青年團員宮城拜觀ニ關スル件 (大正十二年三月二十九日學第一二七八號)……………(二三)
- ◎陸軍造兵廠參觀ニ關スル件 (大正十二年九月十一日學第四四八九號ノ一)……………(二五)
- ◎青少年團體等ニ射撃用火藥類讓受ニ關スル件 (大正十五年二月一日學第二六五號)……………(二七)
- ◎青年訓練所ニ關スル件 (大正十五年五月二十八日內務部長通牒)……………(二九)
- ◎青年訓練所ニ於ケル學式ニ關スル件 (大正十五年十月二十六日社第五七九號)……………(三〇)
- ◎青年訓練所主事指導員ノ手當支給ノ件 (大正十五年十月二十七日社第五五二號)……………(三一)
- ◎女子青年團ニ關スル件 (大正十五年十二月十一日社第六四一號ノ一)……………(三二)
- ◎青年訓練所ノ入所及出席督勵方ニ關スル件 (昭和元年十二月二十七日社第七六二號ノ一)……………(三三)
- ◎青年訓練所ニ使用スル軍用銃及火藥類ノ保管出納ニ關スル件 (昭和元年十二月二十八日社第七一六號)……………(三四)
- ◎青年訓練所調査報告ノ件 (昭和二年一月二十八日社第七五號)……………(三五)
- ◎青年訓練所新設ニ關スル件 (昭和二年二月二十五日社第一五八號ノ一)……………(三六)
- ◎徵兵検査ニ際シ青年訓練所生徒ノ出席證明方ニ關スル件 (昭和二年二月二十五日社第一七一號ノ一)……………(三七)
- ◎巡視簿備付ニ關スル件 (昭和二年四月二十五日社第六〇八號)……………(三九)

沿革

公私立圖書館施設ニ關スル件

明治四十三年二月十七日內學第六八〇號ノ一  
市町村長宛 學務部長通牒

近來公私立圖書館ノ設置漸ク多キヲ來セルモ此等圖書館ノ内容ニ於テ往々施設未タ其宜シキヲ得サルモノナキニアラス今般其筋ヨリ圖書館ノ施設ニ關シ特ニ注意ヲ要ス可キ大體ノ標準別紙ノ通り指示ノ次第モ有之候條相當ノ資力ヲ有シ完全ナル圖書館ヲ設立セントスルモノニ在リテハ成ル可ク此標準ニ準據シ適當ノ施設ヲ爲サシムル様取扱ハレ度尤モ通俗圖書館或ハ小學校ニ附設スル圖書館ノ數ハ施設其宜シキヲ得ルトキハ小學校及家庭ノ教育ヲ裨補スル上ニ於テ其効益少カラサルヲ以テ此類ノ圖書館ニ在リテハ健全有益ノ圖書ヲ選擇スルコト最肝要ナリトス故ニ可成其施設ヲ簡易ニシ主トシテ力ヲ有益ナル圖書ノ蒐集ニ用ヒシムル様取計ラハレ度

(別紙)

- 一、圖書館ハ學術研究ニ資スルト共ニ一般公衆ノ讀書趣味ヲ涵養シ其ノ風尙ヲ高メ其智徳ヲ進ムルノ用ニ供スルモノナレハ圖書館ノ種類目的ニ應シ適當ニシテ有益ナル書籍ヲ選擇蒐集センコトヲ要ス通俗圖書館ニ在リテハ特ニ然リトス依テ其ノ蒐集ス可キ書籍ハ勿論其ノ寄贈ニ係ルモノ、如キモ一般公衆殊ニ青年兒童ノ閱覽ニ供ス可キ雜誌類ニ就キテハ十分取捨選擇ニ注意シ最モ健全ニシテ有益ナルモノヲ選ミテ閱覽用ノ書目ヲ調製スルコト
- 一、數箇ノ圖書館ヲ有スル地方ニ於テハ成ル可ク毎年各圖書館主任者ノ會議ヲ開キ其ノ閱覽ニ供ス可キ圖書ノ種目ニ關シ標準ヲ議定スルコト
- 一、圖書館ハ單ニ其地方ニ古來存在セル古書類ヲ收容シ又ハ寄贈ヲ受ケテ之ヲ閱覽セシムルニ止マラス常ニ有益ナル新刊圖書ノ増加ヲ圖リ館内ニ於テ閱覽ニ供スルハ勿論廣ク館外ニ貸出シ稍々規模ノ大ナル

第三類 公私立圖書館施設ニ關スル件



第三類 公私立圖書館施設ニ關スル件

二

圖書館ニアリテハ或ハ分館ヲ設ケ或ハ巡回文庫ノ制ヲ立ツル等成ル可ク地方一般ニ書籍ノ供給ヲ圖ルコト

一、圖書館ハ一般公衆ノ智識ヲ進メ修養ニ資ス可キハ勿論ナリト雖モ特ニ學校及家庭ト相待テ教育ノ效果ヲ收ムルコトニ努メ或ハ學校ト聯絡シテ教員ノ學科教授上ニ於ケル參考ニ供シ或ハ家庭ニ對シテ其ノ子弟ノ閱讀ス可キ健全ナル良書ノ標準ヲ示シ以テ子弟ヲシテ幼時ヨリ陋劣ナル書籍ヲ手ニセサル習慣ヲ養成スルコト

一、圖書館ハ土地ノ情況及讀者ノ種類ニ應シ適切ナル圖書ノ選擇ヲ爲サ、ル可カラス例ヘハ工業地ニハ工業ニ商業地ニハ商業ニ農業地ニハ農業ニ關シ各必要ナル圖書ヲ供給スルカ如シ其所在地方ニ關スル圖書記録類並其地方人士ノ著述ヲ蒐集スルコト最肝要ナリ

一、圖書館ヲ建設セントスルニ方リテハ府縣廳所在地其他稍々大ナル市街地ニ在リテハ其ノ敷地ハ主トシテ交通風致衛生ノ諸方面ヨリ觀察シテ最モ適當ナル場所ヲ選ヒ其建築ハ閱覽、管理、衛生上ノ便ヲ圖リ力メテ外觀ノ虚飾ヲ去リ質素堅牢ヲ旨トス可シ而シテ土地ノ情況ニ依リ圖書館ノ敷地ヲ交通ノ便ナル所ニ求メ難キトキハ分館又ハ巡回文庫ノ制ニ依リ其ノ缺點ヲ補足スルヲ可トス

一、圖書館ノ設備ハ概ネ左ノ各號ニ依ルコト但簡易ナル圖書館並小學校等ニ附設スルモノハ此ノ例ニ依ルコトヲ要セス

一、圖書館ハ閱覽室、書庫及事務室ヲ區分スルヲ可トス其ノ他地方ノ必要ト經費ノ多少トニ應シ成ル可ク兒童室特別閱覽室、休憩室、製本室、使丁室、婦人室等ヲ設クルヲ便トス

二、閱覽室ノ構造ハ主トシテ通風及採光ニ注意ス可ク書庫ハ成ル可ク煉瓦造又ハ土藏トシ廊下ヲ以テ閱覽室ニ接続セシメ點燈其他必要已ムコトヲ得サル場合ノ外火氣ヲ其ノ内ニ入レサルヲ可トス書庫ノ天井ト床ノ距離ハ九尺乃至十尺トシ書庫ト側壁トノ間隔及書庫ト書庫トノ間隔ハ共ニ約二尺五寸トシテ之

ヲ通路ニ充ツルヲ可トス

三、器具ハ閱覽室用卓子、椅子、圖書出納臺、牌子目錄函、辭書臺、貸出目錄函ノ類ニシテ實際ノ必要ニ應シ成ル可ク之ヲ具備スルヲ可トス

四、帳簿目錄類ハ事務用トシテ圖書原簿、函架目錄、事務用牌子目錄、貸出牌子目錄等ニシテ閱覽用トシテ件名目錄、洋書著者目錄、同分類、和洋書名錄、同分類等ニシテ實際ノ必要ニ應シ成ル可ク之ヲ具備スルヲ可トス而シテ目錄類ハ原簿、函架目錄ノ類ヲ除クノ外成ル可ク一般ニ牌子式ニ依リ帳簿記入式ニ依ラサルヲ便トス

第三類 公私立圖書館施設ニ關スル件

三



通俗教育ニ關スル件

明治四十四年十一月廿七日内學第六〇一九號  
市町村長宛 内務部長通牒

通俗教育ニ關シ貴郡ニ於テハ夫々適當ノ施設ヲナシ斯種教育ノ普及發達ヲ圖ラレ居候儀ト存候ヘ共今般文  
部省ニ於ケル通俗教育調査委員會ニテ學校等ニ於ケル通俗教育ノ施設ニ關シ別紙ノ通議決相成候ニ付テハ  
御參照ノ上地方ノ情況ニ應シテ適切ノ施設ヲナシ其効果ヲ擧ケラレ候様致度候也  
別紙

公立私立諸學校ニ於ケル通俗教育ノ施設ニ關スル件

- 一、各學校ニ於テ學校教育上妨ナキ限り時々通俗講演會展覽會幻燈活動寫眞會等ヲ開催シ父兄母姉ハ勿論  
廣ク一般公衆ヲシテ之ヲ聽講觀覽セシムルコト
- 二、前項ノ通俗講演會ニ於テ理科ニ關スル實驗ヲ行ヒ又ハ幻燈活動寫眞蓄音機ヲ用フル等通俗教育上最趣  
味ニ富ミ兼テ娛樂ニ供スルノ工夫ヲ凝スコト
- 三、各學校ノ校舍運動場圖書器具機械標本及其ノ他ノ設備中通俗教育ニ資スヘキ學校教育上妨ナキ限り成  
ルヘク一般公衆ヲシテ之ヲ利用スルヲ得シムルコト
- 四、各學校ノ施設ハ便宜ノ時期ニ於テ一般公衆ノ縱覽ヲ許スコト特ニ各種實業學校ノ實習地工場等ノ施設  
ハ成ルヘク公衆ヲシテ之ヲ熟知セシムルコト
- 五、各學校ノ職員ヲシテ本務ノ餘暇成ルヘク其ノ地方ニ於ケル通俗教育ノ普及發達ニ關シ盡力セシムルコ  
ト
- 六、圖書館試驗場講習所等ニ於テモ前諸項ニ準スルコト

學校ノ外各種ノ團體等ニ於ケル通俗教育ノ施設ニ關スル件

第三類 通俗教育ニ關スル件



第三類 通俗教育ニ關スル件

一、學校ノ外地方ニ於ケル各種ノ團體ニ於テモ互ニ連絡ヲ圖リ協力スルハ勿論各學校等トモ聯絡シテ通俗講演ヲ初メ其ノ他各自適切ナル通俗教育上ノ事業ヲ行フコト

備考

地方ニ於ケル團體ハ凡ソ左ノ如クナルヘシ

- 教育會 青年團體 農會 商業會議所 產業組合 衛生組合 赤十字社支部
- 愛國婦人會支部 武德會支部 體育會支部 在郷軍人會 報德會 新民會 自強會
- 一德會 弘道會
- 其ノ他ノ各種團體

二、地方ニ於テハ成ルヘク各團體相協議シテ通俗教育ニテ媒介機關ヲ作ルコト

沿革

通俗教育ニ關スル圖書映畫等購入ノ件

明治四十五年一月十日內學第三號

市町村長宛 內務部長通牒

客年十月十日文部省告示第二百三十七號ヲ以テ通俗教育調査委員會通俗圖書審查規定ヲ同告示第二百三十八號ヲ以テ通俗教育調査委員會幻燈映畫及活動寫眞「フィルム」審查規程ヲ告示セラレタル以來該規程ニ依リ認定出願シタルモノニ就キ審查ノ末認定ヲ與ヘラレタルモノ左記ノ通り官報ヲ以テ公示相成候條自今其町村教育會青年會等ニ於テ通俗圖書映畫「フィルム」ヲ購入セントスル場合ニハ右公示ヲ參考セラレ可シ但本文圖書映畫及「フィルム」ハ認定出願ノ順ニ依リ審查濟ノ分ヨリ逐次公示セラレタル次第ニ有之今後モ同様取扱ハル可キ筈ニ付申添候

記

通俗圖書認定

四十四年十二月二十二日官報公示

一、幻燈映畫認定

同上

(別紙)

公立諸學校ニ於ケル通俗教育ノ施設ニ關スル件

- 一、各學校ニ於テ學校教育上妨ナキ限り時々通俗講演會、展覽會、幻燈活動寫眞會等ヲ開催シ父兄母姉ハ勿論廣ク一般公衆ヲシテ之ヲ聽講觀覽セシムルコト
- 二、前項ノ通俗講演會ニ於テ理科ニ關スル實驗ヲ行ヒ又ハ幻燈活動寫眞蓄音機ヲ用フル等通俗教育上最趣味ニ富ミ兼テ娛樂ニ供スルノ工夫ヲ凝スルコト

第三類 通俗教育ニ關スル圖書映畫等購入ノ件



第三類 通俗教育ニ關スル圖書映畫等購入ノ件

- 三、各學校ノ校舍運動場圖書器具機械標本及其他ノ設備中通俗教育ニ資スヘキモノハ學校教育上妨ナキ限リ成ル可ク一般公衆ヲシテ之ヲ利用スルヲ得セシムルコト
- 四、各學校ノ施設ハ便宜ノ時機ニ於テ一般公衆ノ縦覽ヲ許スコト特ニ各種ノ實業學校ノ實習工場等ノ施設ハ成ル可ク公衆ヲシテ之ヲ熟知セシムルコト
- 五、各學校ノ職員ヲシテ本務ノ餘暇成ル可ク其ノ地方ニ於ケル通俗教育ノ普及發達ニ關シ盡力セシムルコト
- 六、圖書館試驗場講習所等ニ於テモ前諸項ニ準スルコト
  - 學校ノ外各種ノ團體等ニ於ケル通俗教育ノ施設ニ關スル件
    - 一、學校ノ外地方ニ於ケル各種ノ團體ニ於テモ互ニ聯絡ヲ圖リ協力スルハ勿論各學校等トモ連絡シ通俗講演ヲ初メ其他各自適切ナル通俗教育上ノ事業ヲ行フコト
    - 備考
      - 地方ニ於ケル團體ハ凡ソ左ノ如クナル可シ
        - 教育會 青年團體 農會 商業會議所 產業組合 衛生組合 赤十字社支部
        - 愛國婦人會支部 武德會支部 體育會支部 在郷軍人會 報德會 新民會
        - 自強會 一德會 弘道會
        - 其他各種團體
  - 二、地方ニ於テハ成ル可ク各團體相協議シテ通俗教育ニテ媒介機關ヲ作ルコト

子守教育等ニ關スル件

大正三年四月十四日學第五三九號

市町村長宛 內務部長通牒

子守教育、青年補習教育ニツキテハ其方法種々アルヘシト雖左記方案ハ有効ナルモノト認メ候間參考ニ資セラレ度

記

子守教育方案

- 1. 子守兒童多數ナルトキハ別ニ一學級ヲ設ク
- 2. 子守兒童少數ナルトキハ一般兒童ト共ニ教授ス
- 3. 嬰兒ノ爲ニ寢室玩具等ヲ設備シ子守兒童中ヨリ當番ヲ設ケテ之ヲ看護セシム
- 4. 子守兒童ハ教授中教室ノ出入ヲ自由ナラシム
- 5. 適當ナル子守歌ヲ選フ
- 6. 通學區域廣キ地方ハ便宜學校以外ノ地ニ於テモ教授ス
- 7. 地方ニヨリテハ夜間教授ヲモ行フ
- 8. 科目ハ修身、國語、算術、唱歌、手工等ヲ選フ
- 9. 學用品ハ貸與若クハ給與ス

青年補習教育方案

- 1. 時々短期夜學會ヲ開ク
  - 2. 町村内ヲ數區ニ別チ巡回教授ヲ行フ
  - 3. 教科ハ修身、國語、算術及實業科トシ尙適切ナル國民思想及常識養成上ノ教材ヲ選フコト
- 第三類 子守教育等ニ關スル件



第三類 子守教育等ニ關スル件

一〇

4. 絶へス簡易ナル印刷物ヲ配付シテ通信教授ヲ行フ但問題ヲ與へテ答案ヲ提出セシムルノ方法ヲモ採ルコト
5. 簡易ナル圖書館ヲ設ケ成ル可ク自由ニ且多ク閱覽セシムルノ方法ヲ採ルコト
6. 適當ナル娛樂法ヲ講スルコト

沿 革

青年團體ニ關スル件

大正四年六月二十三日學第二七二七號  
市町村長宛 内務部長通牒

先般本縣教育會ニ對シ縣下青年團體ヲシテ一層實績ヲ舉ケシムルニ適切ナル方法ヲ諮問相成候處左記ノ通り答申有之候條青年團體指導上參考トセラレ度候也

記

大正四年六月十五日

德島縣教育會長

德島縣知事宛

諮問案答申ノ件

客月二十二日本會へ御諮問相成候縣下青年團體ヲシテ一層實績ヲ舉ケシムルニ適切ナル方法ハ去ル十三日本會總集會ヲ開キ會員一同ニ附議シ答申意見ヲ徴シ候所左記ノ通りニ付此段答申仕候也

記

- 一、市町村ノ當局者並ニ有志者青年ニ十分青年團ノ必要ナルコトヲ自覺セシムルコト
- 二、指導者ハ能ク青年ノ心理狀態ヲ理解シテ施設其ノ宜シキヲ失セサル様注意スルコト
- 三、年齢ノ差等甚シキ青年ヲ同一様ニ取扱フコトハ少カラサル故障ヲ生スルノ恐アレハ十五年以上二十年以下ノ者ヲ以テ會ノ主體トシ二十年以上ノ年長者ハ特別會員又ハ贊助會員等ノ名目ノ下ニ會ノ爲メ盡カセシムルコト
- 四、指導經營上ナルヘク無味乾燥ニ陥ラサル様勉メ趣味多カラシムルコト
- 五、一町村内ニ青年團以外ニ舊來ノ若連組ナルモノ、存立スルハ其弊少ナカラサレハ必青年團ノ本ニ統合セシムルコト

第三類 青年團體ニ關スル件

一一



第三類 青年團體ニ關スル件

一一

- 六、青年團ノ經營上學校中心ニ而已偏スルノ弊アレハ市町村ノ當局者ニ於テモ亦十分其ノ責ニ任セシムルコト
- 七、施設經營上徒ラニ事業ノ末ニ走ラス勉メテ青年會ノ本旨本體ヲ失ハサル様注意スルコト
- 八、學齡兒童ニ對スル教育費ノ多額ナルニ比シ最危險ノ虞レアル青年ニ對スル教育費カ現狀ノ如キ少額ニ過キタルハ甚ク其當ヲ得サルモノナレハ將來青年教育ノ爲相當ノ經費ヲ市町村ヨリ支出セシムルコト
- 九、中等程度ノ學校ニ於テモ生徒教養上特ニ市町村青年團ノ指導發達ニ留意セシムルコト
- 十、青年會ノ單位ハ一市町村ヲ一團トシテ便宜數ケノ分團ニ區分シ其ノ活動ニ便ナラシムルコト
- 十一、各町村青年團ヲ以テ郡青年團ヲ組織シ市郡青年團ヲ以テ縣青年團ヲ組織スルコト

沿革

講師派遣ニ關スル件

大正六年九月十七日學第六九三號  
 市町村長宛 內務部長通牒

男女青年團等ニ於テ指導上講師ヲ要スルトキハ講師ノ派遣ニ可應旨眞宗本願寺派ヨリ申越候趣ニテ其筋ヨリ通牒有之候條各團體ヘ周知方取計ラハレ度シ

第三類 講師派遣ニ關スル件

一三



沿革

學校及圖書館名稱ニ關スル件

大正八年九月廿三日學第四一四七號ノ一  
市町村長宛 内務部長依命通牒

本年六月廿一日文部省令第廿四號ヲ以テ明治三十四年同省令第十一號學校及圖書館名稱、郡、市、町村私立等ノ文字冠用ニ關スル件廢止相成候處右ニ就キ既設學校ニシテ該冠用文字ヲ削除スル場合ニハ自然學校名稱ノ變更ト相成候ニ付夫々法規ノ定ムル所ニ從ヒ認可ヲ要スル答ニ有之候得共單ニ其冠用文字ヲ削除スルニ止マリ他ハ從來ノ名稱ニ變更ナキトキ希望ノ學校ニ對シテ特ニ認可手續ヲ要セス隨意ニ之レヲ削除シ其旨開申セシメラレ度依命及通牒候也



沿革

講習講話ニ關スル件

教育會等ニ於テ開催ス可キ思想問題政治經濟等ニ關スル講習講話會開催ノ場合ニハ豫メ講師ノ職氏名並講演題目ト講話ノ要點等報告セラルヘク尙之カ實施ニ對シテハ特ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ社會教育上遺憾ナキ様措置セラレ度シ

大正九年九月九日學第四六四〇號

市町村長宛 學務部長 通牒

第三類 講習講話ニ關スル件



沿革

兵器拂下願ニ關スル件

現用銃拂下ニ關シ諸學校、青年團等ヨリ直接陸軍兵器本廠ニ拂下願ヒ提出スル向有之候處現用銃ハ本廠限  
リニテハ拂下難出來順序ヲ經テ陸軍省ニ願出スヘキ旨其筋ヨリ通牒有之候條右了知セラレ度

大正十年五月五日學第二四四〇號ノ一  
小學校長宛 內務部長通牒  
市町青年團長宛

第三類 兵器拂下願ニ關スル件



沿革

青年團及處女會調ノ件

大正十年五月九日學第二九二三號  
市町村長宛 學務部長通牒

至急調査ノ必要有之候條其町村ニ於ケル青年團及處女會狀況左記様式ニヨリ取調ヘ毎年三月末日現在ヲ以テ調査シ四月廿日限り報告セラル可シ

記

青年團

年三月末現在

市町村名

團名	氏名	種別	正團員	其他	正團員年齡範圍	經費豫算	資産	施設事業ノ大要
			員數	員數		圓	圓	

備考

- 一、團長欄ニハ團員、市町村長、小學校長、名望家等ノ種別ヲ掲記スルコト
- 二、資産ハ現金、有價證券、土地建物、植樹等ノ種類ニテ其ノ數量ヲ記載シ現金、有價證券以外ノモノハ見積價格タルコト
- 三、事業ノ大要數項ニテ欄内ニ記載シ得サル場合ハ欄外ヘ詳記ノコト

處女會

年三月末日現在

市町村名

會名	氏名	種別	正會員	其他	正會員年齡範圍	經費豫算	資産	施設事業ノ大要
			員數	員數		圓	圓	

備考 青年團表ニ同シ

第三類 青年團及處女會調ノ件



沿革

「青年日」設定ニ關スル件

大正十年九月十二日學第四八八四號  
市町村長宛 内務部長 通牒

「青年日」設定ニ關スル内務大臣ノ談話別紙ノ通り發表相成候旨其筋ヨリ通牒有之候條各青年團ニ對シ可  
然御取計相成度  
別紙

「青年日」ノ設定ニ就テ

床次内務大臣談

客年十一月長クモ 東宮殿下ハ特別ノ恩召ヲ以テ全國青年團員ニ對シ優渥ナル令旨ヲ下シ賜ヘリ是レ洵ニ  
曠古未曾有ノ盛事ニシテ我國ノ青年團ハ茲ニ一新紀元ヲ開キタリト言フモ致テ過當ニアラス仍テ此ノ際令  
旨拜戴ヲ記念シ且ハ各自ノ修養ニ資センカ爲メ此ノ月ノ國祭日タル新嘗祭ノ當日ヲ以テ全國青年團員ノ「  
青年日」ト定メ此ノ日ヲ最モ有益ニ送ルハ頗ル意義アルコトト謂フヘシ而シテ「青年日」ニハ青年團員相  
率キテ所在ノ神社學校若クハ公會堂ニ集リ令旨奉讀後講演運動競技等ノ諸會ヲ催ホシ苟モ青年ノ意氣  
ヲ瀾大ナラシメ自立ノ精神ヲ旺盛ナラシムルニ適當ナルモノハ努メテ之ヲ行ヒ進ンテハ更ニ社會奉仕  
ノ實ヲ擧クルハ勿論老若男女亦齊シク之ニ參加シ青年ト共ニ喜ヒテ頌テ愉快ニ其ノ一日ヲ過スノ美風ヲ  
興スヲ得ハ爲ニ青年ノ若々シキ氣分ハ國內ニ横溢シ其ノ結果ハ延イテ全國青年ノ精神的結合ヲ促スト共ニ  
他國國民ノ氣宇ヲ雄大ナラシムルニ足ラム今ヤ各地青年團員ノ發起ニ係ル日本青年館ノ建設モ着々其ノ步  
武ヲ進メツ、アルハ洵ニ快心ノ事ト言フヘク之カ竣成ノ曉ニハ乃チ前記「青年日」ヲ期シ右青年館ヲ中心  
トシテ全國青年團ノ聯合統一アル各種大運動ヲ舉行スルニ至ランコトヲ希望ス  
予ハ以上ノ趣旨ニ據リ「青年日」ノ特設ヲ青年團員諸君ニ提議セントスルモノ也

第三類 「青年日」設定ニ關スル件



沿革

男女少年團體ニ關スル件

大正十年十一月十日學第六〇四一號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

調査上必要有之候條其町村ニ於テ年齢七、八歳ヨリ一二、一三歳迄ヲ以テ組織セラレタル男女少年團體有之候ハ、毎年三月末日現在ヲ以テ左記要項ニ依リ調査ノ上四月廿日迄ニ當廳ニ到達候様必ス報告セララル可シ

少年(女)團 年三月末日現在 市町村名

團名	團長氏名	團別	團員總數		團員年齡	當該年度經費豫算	資産	施設事業ノ大要
			正團員	其ノ他				

備考

- 一、團長種別欄ニハ團員、市町村長、小學校長、名望家等ノ種別ヲ掲記スルコト
- 二、資産ハ現金、有價證券、土地建物、植樹等ノ種類ニテ其ノ數量ヲ記載シ現金有價證券以外ノモノハ見積價格タルコト
- 三、事業ヲ大要數項ニテ欄内ニ記載シ得サル場合ハ欄外ニ詳記スルコト

第三類 男女少年團體ニ關スル件







實ニ此等ノ組織ヲ設ケテ其ノ活動ヲ進メシムルニ由リテ青年ノ健全ナル發展ヲ期スルニ由リテ社會ノ進歩ヲ期スルニ由リテ國家ノ強盛ヲ期スルニ由リテ國民ノ幸福ヲ期スルニ由リテ

青年團及處女會ニ關スル件

沿革

青年團及處女會ニ關スル件

大正十一年三月二十八日學第四三八二號  
市町村長宛 內務部長通牒

自今新ニ青年團及處女會ヲ設置シタルトキハ遲滯ナク其名稱町村名創立年月日沿革ノ大要及規程ヲ具シ申報セラレ度  
追テ變更ノ場合モ同様ニ申報相成度申添候

第三類 青年團及處女會ニ關スル件



沿革

未成年者飲酒禁止法ニ關スル件

大正十一年六月廿日學第三〇六一號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

學校生徒ノ飲酒取締ニ關シテハ明治四十二年九月徳島縣訓令第十九號ノ次第モ有之從來既ニ適當ノ方法ヲ講セラレツ、アリト信スルモ本年三月廿九日法律第二十號ヲ以テ未成年者飲酒禁止法公布相成タルニ付テハ同法ハ學校生徒兒童ニ關係極メテ深キヲ以テ此際特ニ各學校職員生徒兒童及其ノ家庭ニ對シ該法律ノ趣旨ヲ徹底セシメ萬遺憾ナキ様セシメ度旨其筋通牒ノ次第モ有之候右及移牒候也

第三類 未成年者飲酒禁止法ニ關スル件



沿革

青年團員宮城拜觀ニ關スル件

大正十二年三月二十九日學第一二七八號  
市町村長宛 學務部長通牒

全國青年團員ニ對シ宮城内乙種拜觀ヲ差許サルルコトト相成タルニ就テハ別記事項嚴守ス可キ旨其筋ヨリ通牒有之候條右及移牒候也

別記事項

- 一、洋服、羽織袴若ハ團服ヲ着用スル等服裝ニ十分注意スルコト
- 但シ團服ト稱スルモ其不體裁ニシテ敬意ヲ失スル虞アルモノハ差許サレズ
- 一、履物ハ靴、草履、小間下駄ヲ必ス使用ノコト雨天ノ際高下駄ヲ使用ノトキハ御門ニ於テ草履ト穿キ換ノコト
- 一、引卒者ハ拜觀前日迄ニ必ス秘書課庶務掛ヘ出頭スルコト
- 一、拜觀者名簿ニハ必ス各自ノ職業ヲ記載スルコト

第三類 青年團員宮城拜觀ニ關スル件



陸軍造兵廠參觀ニ關スル件

大正十二年九月十一日學第四四八九號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

從來題記ノ件ニ關シテ凡テ陸軍大臣ノ認可ヲ要シタル處自今ハ通常陸軍造兵廠長官ニ於テ許可シ得ルコト  
ニ定メラレタルニ付將來ハ同廠長官宛ニ官衙學校ヘ團體ノ長若シクハ其ノ代表者ヨリ人員期日ヲ具シ出願  
ス可キ様其筋ヨリ通牒有之候條及移牒候也  
追テ今後ハ青年團體ニ對シテモ許可セラル可ク又外國人(諸學校在學中ノ者ヲ含ム)ノ參觀ハ外務省經  
由陸軍大臣ノ認可ヲ可要義ニ付右御了知相成度申添候

第三類 陸軍造兵廠參觀ニ關スル件



沿革

青少年團體等ニ射撃用火藥類讓受ニ關スル件

大正十五年二月一日學第二六五號

市町村長宛 內務部長通牒

首題ノ件ニ關シ陸軍省兵器局長ヨリ第十一師團兵器部長宛別紙寫ノ通り通牒アリシ旨同兵器部長ヨリ移牒シ來リ候ニ付右貴管下團體等ノ當事者ニ傳達方取計相成度

寫

大正十五年一月二十二日兵第二五號

陸軍省兵器局長

第十一師團兵器部長宛

大正十二年七月十九日陸普第三一七二號ヲ以テ部外團體ニ對シ彈藥ノ拂下出納保管及兵器ノ破損等ノ場合ニ於ケル處置ニ關シ通牒相成候處今般彈藥拂下手續ニ關シ青少年團體員及之ニ準スル團體員並ニ諸學校ノ學生生徒等ニシテ團體ヲ組織シ軍事研究ノ目的ヲ以テ實包並狹窄射撃等ヲ軍隊ニ願出軍隊所屬ノ射撃場ニ於テ軍隊監視ノ下ニ射撃ヲ爲サシメ且彈藥ノ出納ハ軍隊ニ於テ取扱フ場合ニ限り明治四十四年一月十九日陸普第一六三號在郷軍人會小銃射撃施行ノ場合ヲ適用シ射撃施行後ニ於テ該彈藥ノ拂下ヲ出納シ差支ナキコトト相成候條承知相成度

第三類 青少年團體等ニ射撃用火藥類讓受ニ關スル件



（以下は、本報に掲載された新聞記事の複製である。本文の大部分は、大正十五年五月二十八日付の新聞記事に由来する。記事の内容は、青年訓練所に関する経費の補助金交付の件について、内務部長が通牒した旨を述べている。記事の全文は、本報のデータベースに収録されている。）

沿革

青年訓練所ニ關スル件

大正十五年五月二十八日  
市町村長宛 内務部長通牒依命

今回公布相成リケル青年訓練所令及青年訓練所規程並ニ之ニ關スル縣令實施ニ就テハ左記各項御了知ノ上各町村ヲシテ之カ實施貫徹ヲ期セシムル機御措置相成度此段依命及通牒候也

記

一、青年訓練所所要經費ニ關スル事項

青年訓練所ノ經費ニ就キテハ國庫ヨリ全國市町村ニ對シ百萬圓ノ補助金アリ本縣ニ對シテモ壹萬貳千圓ノ交付アリケルヲ以テ追テ之ヲ各市町村ニ交付スヘキモ該交付金ハ青年訓練所所要經費ノ一部分ニ充ツルニ過キササルヲ以テ市町村ハ宜シク之ニ必要ナル經費ヲ支出シテ其ノ施設ノ徹底ヲ期スヘキコト

二、實業補習學校ヲ以テ青年訓練所ニ充ツル場合ニ關スル事項

1. 青年訓練所規程第六條ニ依リ實業補習學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムルニ就テハ管理者ノ認可申請ニ依ルモノナルカ右ハ當該實業補習學校ニ於テ其ノ通學區域ニ居住十六歳以上二十歳迄ノ青年ヲ概ネ收容シ且ツ其ノ授業ハ青年訓練所ト同シク四年ニ亘ル場合ニ限ルコト
2. 實業補習學校ヲ以テ青年訓練所ニ充當シタル場合ハ別ニ青年訓練所ヲ設置スルヲ要セサルモ當該實業補習學校カ青年訓練所ニ充テラレケルモノナルコトヲ適當ニ標示シ且青年訓練所名簿ヲ備付ケ生徒ニハ青年訓練所手帳ヲ所持セシメ且ツ修了者ニハ徳島縣青年訓練所施行細則第二號様式ノ證明書ヲ交付スヘシ

三、主事指導員ノ囑託ニ關スル事項

1. 主事ハ市町村長市町村學校組合長又ハ町村學校組合長ノ内申ニ依リ知事之ヲ囑託シ指導員ハ市町村

第三類 青年訓練所ニ關スル件



第三類 青年訓練所ニ關スル件

四〇

1. 長市町村學校組合長又ハ町村學校組合長ヲ經由シ主事ノ内申ニ依リ知事之ヲ囑託ス
  2. 私立青年訓練所ノ主事指導員ハ設立者ニ於テ知事ノ認可ヲ受ケ設立者之ヲ囑託ス
  3. 主事指導員ノ内申ニ就テハ其人選ニ留意シ教練ノ指導員ニ就テハ在營シタル期間永ク且成ル可ク其ノ教育ノ程度高キ者ヨリ之ヲ選定スルコト
  4. 私立青年訓練所ノ主事指導員ハ公立青年訓練所ノ例ニ依リ小學校又ハ實業補習學校ノ教員タルコトヲ得ル資格アル者及在郷軍人其ノ他適當ト認メタル者ニ就キ申請スルコト
  5. 學校配屬將校其ノ他現役將校ニ對シテハ其ノ本務ニ支障ナキ限り教練ノ指導ヲ囑託スルモ妨ケナシ
- 四、修了ノ認定ニ關スル事項
1. 訓練ヲ受クル者ノ平素ノ修業ニ關シテハ適當ノ方法ニ依リ督勵ヲ加ヘサルヘカラサルハ勿論ナルモ修了證ヲ授與スヘキヤ否ヤノ認定ニ關シテハ所定ノ授業時數出席シタルコトヲ標準トスルモノトス
  2. 病氣其ノ他特別ノ事情ニ依リ所定時數ノ授業ヲ受クルコト能ハサル者ニ對シテハ適當ノ時期ニ於テ授業時數補充ノ途ヲ講スルコトヲ得

五、私立青年訓練所ヨリ提出スル書類ノ取扱ニ關スル事項

私立青年訓練所ヨリ知事ニ提出スル書類ハ當該私立青年訓練所所在地ノ市町村長ヲ經由セシムルコト

六、青年訓練名簿記入ニ關スル事項

青年訓練所名簿ハ左ノ事項ニ注意シテ記入スルコト

1. 入所前ノ經歷欄中「學歷」ニハ義務教育修了後ノ學歷ヲ摘記シ「其ノ他」ニハ入所前他ノ青年訓練所ニ於テ訓練ヲ受ケタル場合モ其ノ關係事項ヲ記入スルコト
2. 免除項目欄ハ當該項目ヲ課セサリシ時數及其ノ事由ヲ記入スルコト

例項目 時數 事由

普通學科 五〇 何々學校第何學年修了

3. 出席時數欄ハ別ニ備付ノ出席簿及青年訓練名簿ノ備考欄等ヲ参照シテ當該青年訓練所ノ分ト他ノ青年訓練所ノ分トヲ朱書又ハ適當ノ方法ニ依リ區別シテ之ヲ記入スルコト

4. 備考欄ニハ入所前他ノ青年訓練所ニ於テ訓練ヲ受ケタル者ニ就キ其ノ出席時數及青年訓練所名ヲ記入スルコト

但シ賞罰其ノ他必要ナル事項ヲ記入スルモ差支ナキコト

5. 出席時數欄ハ當該年次ノ終リタルトキ又ハ退所シタルトキ記入スルヲ常例トシ其ノ他ノ各欄ハ青年訓練ヲ受クルモノノ入所シタルトキ又ハ關係事項ニ異動アリタルトキニ記入スルコト

七、本年度訓練所開始ニ關スル事項

本年七月一日迄ニ訓練所ヲ開始スルニ就テハ昨年十一月三十日ニ於テ滿十六年以上二十年未滿ノ青年ヲ同日迄ニ全部入所セシムヘシ而シテ最終年次ノモノニ對シテハ訓練項目ヲ左記時數タケ課シテ修了證ヲ授與スルコトヲ得

修身科及公民科	二十五時
普通學科	五十時
教練	百時
職業科	二十五時

七月一日入所セサルモノハ兵役短縮査定ノ特典ナキモノニ付必ス同日迄ニ入所セシムルコト

八、入所者學歷ニ關スル件

青年訓練所ヘノ入所ハ尋常小學校卒業以上ノ學歷ヲ有スルモノヲ認可スルモ元來同所ノ訓練ハ高等小學校卒業ヲ基準トスルモノナルニ依リ將來ノ兒童ニ對シテハ教育ノ最低程度ヲ高等小學校卒業迄進ムル機奨勵

第三類 青年訓練所ニ關スル件

四一



第三類 青年訓練所ニ關スル件

スルコト

九、本年度青年訓練所設置ニ付措置スヘキ事項

1. 市町村ニ於テハ青年訓練所設置ニ關シ六月上旬迄ニ左ノ事項ヲ措置シ六月十五日迄ニ縣ヘ到着スル様設置認可ノ申請書ヲ提出スルコト

(1) 豫算ノ追加

(2) 訓練所數及位置決定

(3) 名簿調製(六月十日迄ニ必調製ノコト)

(大正十四年十一月三十日ニ於テ滿十六歳以上二十歳未滿ノ現住者)

2. 入所者ニ關スル通知通告及報告ノ期限ハ本年ニ限り左ノ通取扱フコト

(1) 市町村長ヨリ入所セシムヘキ者ノ親權者後見人又ハ履傭主ニ對スル通知ハ六月二十日迄

(2) 市町村長ヨリ青年訓練所主事ニ對シ入所セシムヘキ者ノ氏名通知ハ六月二十日迄

(3) 青年訓練所主事ヨリ市町村長ニ對スル入所者ノ氏名報告ハ七月二十日迄

(4) 主事ノ内申ハ設置認可申請ト同時ニ提出シ指導員ノ内申ハ七月五日迄ニ必ス提出ノコト

十、設置認可申請添付書類ニ關スル事項

青年訓練所設置認可申請書ニ添付スヘキ「名稱」位置規則青年訓練ヲ受クルモノノ概數開設年月日經費及維持ノ方法ヲ記セル書類ハ正副三通必ス添付スルコト 以上

青年訓練所ニ於ケル學式ニ關スル件

大正十五年十月二十六日社第五七九號ノ一  
青年訓練所主事宛 學務部長依命通牒

紀元節天長節祝日及一月一日ニハ青年訓練所ニ於テモ主事指導員及入所者彙集シ適宜祝賀式ヲ行ハシメラレ度此段依命通牒ス

追テ本文ノ學式ハ小學校又ハ實業補習學校等ニ併置セル青年訓練所ノ場合ニ於テハ當該學校ノ兒童ト生徒ト同時ニ行ハルルモ差支無之念爲申添フ

第三類 青年訓練所ニ於ケル學式ニ關スル件



沿革

青年訓練所主事指導員手當支給ノ件

大正十五年十月二十七日社第五五二號  
市町村長宛 學務部長依命通牒  
青年訓練所主事

本年七月開所ノ青年訓練所主事指導員ノ手當ニ關シ年ヲ以テ手當額ノ基準ヲ定メ候場合ハ左記ニ依リ支給方取計相成度此段依命通牒候也

記

- 一、本年七月青年訓練所開所ト同時ニ任命セラレ年度末ニ至ル者ニハ手當全額ヲ支給ノコト
- 一、七月以後年度末ニ至ル中途ニ於テ異動セシ者ニハ七月ヨリ年度末ニ至ル月數ヲ以テ手當額ヲ除シ其ノ商ニ在職月數ヲ乘シタル額ヲ支給ノコト

第三類 青年訓練所主事指導員手當支給ノ件



女子青年團ニ關スル件

大正十五年十二月十一日社第六四一號ノ一  
市町村長  
小學校長  
補習學校長  
宛  
學務部長依命通牒

今般女子青年團ノ指導ニ關シ縣知事ヨリ訓令アリタル所右ハ女子青年團體ノ本旨ヲ明ニスルト共ニ其ノ普及ヲ促進シ既設ノ團體ニ對シテハ益健實ナル發達ヲ遂ケシムル趣旨ニ有之其ノ指導誘掖ニ就テハ各地方ノ實情ヲ考慮シ特ニ左記事項御留意ノ上適當ニ御措置相成度此段通牒候也

記

一、團體ノ名稱

團體ノ名稱ハ何女子青年團ト稱スルヲ本則トスレトモ既設ノ團體ニシテ此ノ際名稱變更ヲ不便トスル向ハ強ヒテ改稱ニ及ハサルコト

一、團體ノ設置

女子青年團體ハ土地ノ情況ヲ參酌シ市町村小學校通學區域等ヲ單位トシテ之ヲ設置シ必要ニ應ジ支部ヲ設ケ又ハ聯合會ヲ組織スルコト

工場商店等ニ對シテモ女子青年團體ノ設置ヲ獎勵スルコト

一、團體員ノ年齡

女子青年團體ハ概ネ義務教育終了ヨリ結婚ニ至ル迄ノ青年女子ヲ以テ組織スルヲ常例トス

一、團體ノ指導者

女子青年團體ノ指導ニハ學校長市町村長其ノ他學識徳望ノアル者ノ中ニ就キ適當ト認メタル者ヲシテ之ニ當ラシメ殊ニ學校職員篤志ノ婦人等ヲシテ協力セシムルコト

一、團體ノ施設

第三類 女子青年團ニ關スル件



第三類 女子青年團ニ關スル件

- 女子青年團體ノ施設ハ土地ノ情況、團體員ノ年齡境遇等ヲ參酌シ特ニ左ノ諸點ニ留意スルコト
- (一) 家事職業ニ關スル智徳ヲ涵養スルト共ニ公共生活ニ必須ナル素養ヲ與ヘ特ニ實業補習學校ノ就學ヲ獎勵シ其ノ徹底ヲ期スルコト
  - (二) 學校圖書館其ノ他ノ教育施設及婦人會等ノ團體ト連繫ヲ密接ニスルコト
  - (三) 適切ナル講演會講習會娛樂會等ヲ開催スルト共ニ健全ナル讀物ノ選擇ニ關シテ適切ナル指導ヲ與フルコト
  - (四) 體操、競技等ハ特ニ女子ニ適切ナルモノヲ選定スルト共ニ保健衛生思想ノ涵養ニ努ムルコト
  - (五) 地方ノ瓦風美俗ノ維持發達ヲ圖ルト共ニ生活ノ改善ヲ期スルコト
- 一、團體ノ維持
- 女子青年團體ニ要スル經費ハ成ルヘク會費團體費ノ勤勞ニ依ル收入等ヲ以テ之ヲ支辨スルコト
- 一、退會者トノ聯絡
- 結婚等ニ依リ退會シタル者ト雖引續キ團體トノ連繫ヲ持續セシムルト共ニ其ノ援助ニ力ヲ竭サシムルコト

沿革

青年訓練所ノ入所及出席督勵方ニ關スル件

昭和元年十二月二十七日社第七六二號ノ一  
青年訓練所主事宛 學務部長依命通牒

青年訓練ノ實施ニ就キテハ地方當事者ノ熱心努力ニ由リ相當ノ成績ヲ收メツアルハ國家ノ爲メ洵ニ欣フヘキコトニ屬スルモ青年訓練所ノ基礎ヲ鞏固ニシ益其ノ普及發達ヲ促スニ就キテハ各般ノ事項ニ亘リ尙一層ノ督勵ヲ要スルハ勿論特ニ明年一月ハ青年訓練所ノ常態ニ於ケル最初ノ入所期ニ有之各地方ニ於テモ之ニ關シ夫々適當ノ措置相成居ルコトト存セラルルモ從來實施ノ情況ニ鑑ミ特ニ左記各項御留意ノ上此ノ際益々青年訓練ノ本旨ノ徹底ニ努メラルルト共ニ訓練ノ實際ヲ適切ニ指導督勵セラルル様一層ノ御配意相成度此段依命通牒ス

記

- 一、雇傭主父兄等ニシテ尙未ク青年訓練ノ本旨ヲ諒解セサル尙有之生徒ノ入所及出席ノ獎勵上支障尠カラサルノミナラス本施設ヲ以テ今尙在營年限短縮ノ代價的施設ナリト誤解スル等ノ者アルニ鑑ミ一層趣旨ノ徹底ヲ期スルコト
- 一、青年訓練所ヲシテ適當ナル施設ヲ爲サシメ生徒カ訓練所ヲ親愛スルノ氣風ヲ興スコトニ努ムルハ勿論特ニ教練以外ノ訓練項目ニ就キテモ訓練所ノ特質ニ顧ミ教材ノ選擇及授業方法ヲ適切ナラシメ尙府縣當局ニ於テモ之カ指導督勵ニ關シ適宜ノ施設ヲ努メラレ以テ訓練ノ實效ヲ收ムルコト
- 一、青年訓練所ノ中途入所ノ取扱ニ關シテハ發普一九二號青年訓練ニ關スル件通牒中ニ指示セラレタルカ右ハ青年訓練所ノ課程ノ修了ヲ考慮シタルニ依ルモノナルヲ以テ其ノ修了トノ關係ナク中途入所ヲ希望スル者アル場合ニ於テハ成ルヘク之ヲ入所セシメ以テ青年訓練ノ實ヲ擧クルニカムルコト

第三類 青年訓練所ノ入所及出席督勵方ニ關スル件



青年訓練所ニ使用スル軍用銃及火薬類ノ  
保管出納ニ關スル件

昭和元年十二月二十八日社第七一六號ノ一  
青年訓練所主事宛 學務部長依命通牒

青年訓練所ノ訓練項目中教練ニ付テハ曩ニ文部省訓令第十四號青年訓練所訓練要旨中ニ其ノ要旨ヲ指示セ  
ラレ且發普一六三號ヲ以テ青年訓練所教練教材配當並進度參考表ニ依リ青年訓練所ニ於テ教練ヲ授クルニ  
當リ射擊發火演習等ハ必スシモ之ヲ爲サシムルノ趣旨ニ無之處青年訓練所ニ於テ或ハ軍用銃ヲ使用セシメ  
更ニ射擊發火演習等ヲモ實施セラルル向アルヲ以テ爾今右ノ如キコトアル場合ハ特ニ左記各項御承知ノ上  
取扱相成度此段依命通牒候也

記

一、軍用銃保管倉庫ニ關スル事項

軍用銃保管倉庫ノ窓扉鎖鑰等ハ堅牢ナル構造ト爲シ盜難等ニ罹ルノ虞ナカラシムル様注意スルコト

二、銃用實包空包等ノ取扱ニ關スル事項

- (一) 銃用實包ハ成ルヘク使用當日ニ拂下軍衛又ハ讓渡人ヨリ交付ヲ受クルコト
- (二) 拂下ヲ受ケ又ハ讓受ケタル銃用實包ハ當日中ニ之ヲ使用シ數量ノ多寡ニ拘ラス剩餘ヲ生セシメサル様  
注意スルコト但シ已ムヲ得ス使用殘ヲ生シタル場合ニ於テハ必ス直ニ軍衛又ハ火薬商ニ之カ保管ヲ委  
託スルコト

- (三) 銃用空包火薬雷管及雷管附藥莖ノ拂下ヲ受ケ又ハ購入ヲ爲ス場合ニ於テモ成ルヘク使用殘ヲ生セサル  
様其ノ使用量ヲ見込ミ事情ノ許ス限リ使用當日ニ軍衛又ハ讓受人ヨリ交付ヲ受クルコト若シ已ムヲ得  
ス使用殘ヲ生シタルトキハ左ノ區分ニヨリ之ヲ措置スルコト

甲、使用殘ノ火薬類ハ成ルヘク軍衛又ハ火薬商ニ保管ノ委託ヲ爲スヘキコト但シ銃砲火薬類取締法施行

第三類 青年訓練所ニ使用スル軍用銃及火薬類ノ保管出納ニ關スル件



第三類 青年訓練所ニ使用スル軍用銃及火藥類ノ保管出納ニ關スル件

五二

規則第十八條第一號第三號ノ各號ノ一ニ該當スル數量ナルトキハ盜難又ハ爆發ノ虞ナキ安全ナル場所ニ貯藏スルモ差支ナキコト此ノ場合ニ於テハ銃砲火藥類取締法施行細則第二十七條ノ規定ヲ遵守スルコト

乙、使用殘ノ火藥類ニシテ前號但書ニ掲クル數量ヲ超ユルモノニ付テハ必ス直ニ軍衛又ハ火藥商ニ其ノ保管ヲ委託スルコト

三、軍用銃及火藥類ノ保管出納等ノ注意ニ關スル事項

青年訓練所ニ使用スル軍用銃及火藥類ヲ密ニ他ニ貸與シ讓與シ又ハ青年訓練所ノ訓練以外ノ目的ニ使用シ其ノ他之ヲ濫用セラルルコトナカラシムル様青年訓練所主事ハ之カ保管出納等ニ付嚴重ニ注意スルコト

青年訓練所調査報告ノ件

昭和二年一月二十八日社第七五號

市町村長宛 學務部長通牒

青年訓練所ノ調査ニ關シテハ左記様式ニ依リ毎年二月末日限り報告相成度此段及通牒候也

記 公立青年訓練所ニ關スル調査

(二月末日現在)

村	町	市	事由		青年訓練所 施設ノ有無	訓練所 數	青年訓練 モノノ數	前年修了 者ノ數	指導員數	費用	摘要
			種別	事由							
			モルタシ設置ヲ所練訓ノ								
			訓年青ヲ校學習補業實ノモルタテ充ニ所練								
			モルサセ設置ヲ所練訓ノ								
			學習補業實ハ又校學小ノモルス置併ニ校								
			開テ於ニ所場ノ他ノ其ノモルセ設								
			計								
			訓年青ヲ校學習補業實ノモルタテ充ニ所練								
			計 總								
			I								
			II								
			III								
			計								
			I								
			II								
			III								
			計								
			主學在								
			校鄉其								
			教軍								
			事員								
			他								
			計 小								
			主事								
			指導員								
			手員								
			總當								
			額								
			他								
			計								

第三類 青年訓練所調査報告ノ件

五三







徴兵検査ニ際シ青年訓練所生徒ノ出席證  
明方ニ關スル件

昭和二年二月二十五日社第一七一號ノ一  
青年訓練所主事宛 學務部長 通牒

從來徴兵検査ニ際シ行ヒ來リタル壯丁教育成績調査ニ就テハ青年訓練所實施後ノ情況ニ顧ミ其ノ訓練ノ效  
果ヲモ參考ニ資スルノ目的ニ基キ曩ニ二月十四日發普三三號ヲ以テ通牒相成タル壯丁教育成績調査要項改  
正ニ關スル件ニ據レハ各壯丁ニ關シ其ノ既往ノ學歷及現ニ青年訓練所ノ訓練ヲ受ケ且ツ其ノ出席優良ナル  
ヤ否ヤヲ調査致スコトニ相成居ルヲ以テ右優良出席ニ就キテハ左記標準ニ依リ青年訓練所主事充當實業補  
習學校長及青年訓練所規程第八條ノ學校長ニ於テ本人ノ所持セル青年訓練手帳ノ備考欄ニ夫々出席優良ナ  
ル旨記入證明ノ上徴兵検査ノ際本人ヲシテ持參セシムル様御取計相成度此段通牒ス

記

青年訓練所優良出席者標準時數

年次別	標準時數		備考
	訓練	其他ノ訓練項目	
昭和二年徴兵検査ヲ受クル者	一〇〇	五〇	昭和元年十二月末日ニ受ケタル訓練時數ヲ標準トス
昭和三年徴兵検査ヲ受クル者	二〇〇	一五〇	前年末日迄ニ受ケタル訓練時數ヲ標準トス
昭和四年徴兵検査ヲ受クル者	三〇〇	二五〇	以下同シ
昭和五年徴兵検査ヲ受クル者	三〇〇	三〇〇	
昭和六年徴兵検査ヲ受クル者	三〇〇	三〇〇	

第三類 徴兵検査ニ際シ青年訓練所生徒ノ出席證明方ニ關スル件



第三類 徴兵検査ニ際シ青年訓練所生徒ノ出席證明方ニ關スル件

五八

備考

- 一、充當實業補習學校青年訓練所規程第八條ノ學校在學者ニシテ徴兵検査ヲ受クル者ニ就テモ前表ノ標準ニ依ルコト
- 二、前表ノ標準時數中ニハ所定ノ條件ニ依リ免除シタル訓練時數ヲ含ムコト

沿革

巡視簿備付ニ關スル件

昭和二年四月二十五日社第六〇八號  
青年訓練所主事宛 學務部長依命通牒

管内青年訓練所ノ指導監督上必要ヲ認メ候ニ付テハ爾今左記様式ニ依リ青年訓練所巡視簿ヲ備付ケ巡視官視察ノ際之ヲ提出シ其ノ指示セラレタル事項ニ關シテハ夫々適切ナル施設又ハ整理ノ上將來之カ振興ノ資ニ供セラレ度依命及通牒候也

記

巡視年月日	指示事項	巡視官職氏名	備考

備考

備考欄ニハ指示事項ニ對スル施設又ハ整理ノ大要ヲ記入スルコト

第三類 巡視簿備付ニ關スル件

五九



社會事業



### 第三類 社會事業

#### 目次

- ◎ 在私設教育所棄兒養子ノ件 (明治四十四年七月二十二日地第一九〇二號)……………(一)
- ◎ 恩赦出獄人保護ニ關スル件 (大正元年十月二十五日地第一九三五號)……………(三)
- ◎ 軍事救護ニ關スル件 (大正六年十二月二十二日地第四二九五號)……………(五)
- ◎ 公共團體經營住宅用地登録稅免除ノ件 (大正十一年三月二日地第九八一號ノ一)……………(七)
- ◎ 方面委員事務取扱方等ニ關スル件 (大正十二年二月二十三日地第五三六五號ノ一)……………(二)
- ◎ 社會事業ニ關スル委員設置ノ件 (大正十二年二月二十四日地第一〇八〇號)……………(三)
- ◎ 癡病院收容申請書進達ニ關スル件 (大正十二年四月二十一日地第二一七〇號ノ一)……………(五)
- ◎ 行旅病人ニシテ傳染病ニ罹リタル者ノ (大正十二年五月二十一日地第二五五〇號ノ二)……………(七)
- ◎ 取扱費用區分ニ關スル件 (大正十二年六月二十日地第三三五二號)……………(九)
- ◎ 勞働者教育事業ニ關スル件 (大正十三年一月十一日地第三三三號ノ一)……………(三)
- ◎ 軍事救護ニ關スル件 (大正十三年一月十一日地第三三三號ノ一)……………(三)
- ◎ 公營質屋ニ關スル件 (大正十四年一月二十四日地第八五號ノ一)……………(五)
- ◎ 社會事業ニ關スル刊行物繼續送付ノ件 (大正十四年二月二十七日地第四二九號ノ一)……………(七)



- ◎公益質屋調ノ件 (大正十四年七月十六日地第一六一六號ノ二)..... (元)
- ◎職業紹介法施行令中改正ノ件 (大正十四年七月十六日地第一八六二號ノ一)..... (三)
- ◎少年職業紹介ニ關スル件 (大正十四年七月十六日地第一八六八號ノ一)..... (三)
- ◎療兵院收容申請書進達ニ關スル件 (大正十四年七月二十七日地第一八一九號ノ三)..... (三)
- ◎住宅組合ノ組合員調書等記載方ノ件 (大正十四年十月三日地第二三八二號ノ一)..... (七)
- ◎社會事業従事者獎勵金交付ニ關スル件 (大正十五年四月六日地第五三〇號)..... (元)
- ◎社會事業従事者獎勵金交付ニ關スル件 (大正十五年四月二十八日地第五三〇號ノ四)..... (四)
- ◎職業紹介所利用ニ關スル件 (大正十五年五月二十四日地第八九二號ノ一)..... (四)
- ◎融和事業ノ徹底ニ關スル請願ノ件 (大正十五年六月八日地第一〇二五號ノ一)..... (四)
- ◎地方改善事業中育英獎勵者ノ退學 (大正十五年七月十三日社第一三四號ノ一)..... (四)
- ◎地方改善施設費補助申請ニ關スル件 (大正十五年七月二十六日社第一八三號ノ一)..... (四)
- ◎方面委員制度ニ關スル件 (大正十五年十一月十日社第四〇〇號ノ二)..... (五)
- ◎軍事救護ニ關スル件 (大正十五年十二月二十一日社第六七三號ノ一)..... (五)
- ◎引取者ナキ死體ノ取扱方ニ關スル件 (昭和二年一月十三日社第七七五號ノ一)..... (五)
- ◎恤救規則ニ關スル件 (昭和二年三月十一日社第二〇五號ノ一)..... (七)

沿革

在私設教育所棄兒養子ノ件

明治四十四年七月廿二日地第一九〇二號  
 市町村長宛 内務部長通牒

棄兒カ養子ト爲ルタメ庶子ノ必要ヲ生シタルトキハ意思能力ナキトキト雖モ庶子ヲ許スコトニ司法會ニ於テ省議決定相成タルニ付私設教育所ニ在ル棄兒ヲ他人ノ養子トナス場合ハ後見人ノ職務ヲ行フ者代リテ庶子ノ届出ヲ爲シ可然旨其筋ヨリ通牒有之候條及移牒候也

第三類 在私設教育所棄兒養子ノ件



恩赦出獄人保護ニ關スル件

大正元年十月廿五日地第一九三五號

市町村長宛

内務部長 通牒

今般在監者ニ對シ恩赦行ハセラレ候ニ付テハ該恩典ニ浴シ出獄セル者ニ相當ノ保護ヲ加ヘ生業ニ就カシムルハ再ヒ犯罪者クラシメサル最良ノ方法ニシテ實ニ 聖旨ヲ貫徹スル所以ノ途ト被認候殊ニ本縣ニ於テハ明治三十八年出獄人保護協約ノ設ケアリト雖モ恩赦出獄者ニ關シテハ一層切實ニ其保護ノ必要ヲ感シ候依テ左記ノ通り恩赦出獄人保護ニ關スル取扱要項ヲ定メ通牒有之候條協約ノ趣旨ヲ擴充シ保護上遺漏ナキヲ期セラレ度

記

恩赦出獄人取扱要項

- 一、恩赦出獄人ノ保護者選定ニ關シ警察官署ヨリ協議アリタルトキハ市町村長ハ速ニ之ニ應シ保護者ヲ定メタル場合ハ保護上必要ナル事項ヲ指示スル事
- 前項保護者ニ對シ監獄ヨリ召喚アリタルトキハ出獄者引取ノ爲指定ノ期日ニ遲滞ナク出頭ス可キ旨豫メ市町村長ヨリ説示シ置ク事
- 二、出獄人ノ所持金ハ歸郷ニ必要ナル費用ノミ携帯セシメ其餘ハ總テ監獄ヨリ郵便爲替其他適當ナル方法ヲ以テ直接歸住地ノ市町村長ニ送附セラルヘキヲ以テ市町村長ハ保護者ト協議シ郵便貯金又ハ銀行預金等利殖ノ方法ヲ講シ不得止場合ノ外溢ニ費消セシメサル様貯金又ハ預金通帳ノ保管ヲ爲ス事
- 三、出獄人ヲシテ速ニ正業ニ就カシムル爲市町村長ハ關係者ニ協議シ適當ナル職業ノ紹介ヲ爲ス可キハ勿論之ヲ嫌忌スル等放慢ノ傾キアルトキハ嚴ニ本人ヲ戒告シテ反省ヲ促シ一面其事情ヲ所轄警察官署ニ告知スル事

第三類 恩赦出獄人保護ニ關スル件



第三類 恩赦出獄人保護ニ關スル件

四

- 四、出獄者ノ保護ニ關シテハ所屬寺院僧侶又ハ宗教家篤志者ニ囑託シテ指導訓誨ニ励メ仍學校職員警察官ト氣脈ヲ通シ協力以テ其實績ヲ擧グルニ努力スヘキハ勿論機會アル毎ニ宗教上又ハ道德上ノ訓話ヲ聽聞セシメ特ニ青年出獄者ニ對シテハ職業ノ餘暇又ハ夜間ヲ利用シ補習教育等ノ方法ニ依リ品性ノ陶冶ヲ圖ル事
- 五、市町村長ハ時々出獄者ノ狀況ヲ視察シ監督保護者ニ於テ其監督ヲ忽ニシ又ハ本人ヲ疎外スル如キ行爲アルトキハ直ニ嚴戒ヲ加ヘ保護ノ責任ヲ完カラシムル事
- 六、講演講話其他各種集會ノ機會ヲ利用シ出獄人保護ノ必要ヲ周知セシムルノ方法ヲ採リ一般ノ同情心ヲ湧起セシムルニ努ムル事
- 七、市役所町村役場ニハ出獄人保護名簿ヲ設備シ明治四十四年本縣訓令第四號報告其他必要事項ヲ記載シ其經過ヲ明カニスル事尤モ保護ノ必要ナキニ至リタルトキ之ヲ削除スル事
- 八、保護者中其責務ヲ盡サ、ルカ又ハ他ニ轉住シ其他不適當ト認ムルトキハ市町村長ハ警察官ト協議ノ上保護者ヲ變更スル事
- 九、保護中ノ出獄者居所ヲ轉スルトキハ市役所町村役場ハ轉住先ノ市町村長ニ對シ保護ニ關スル必要事項ヲ通報スル事

沿革

軍事救護ニ關スル件

大正六年十二月廿二日地第四二九五號

市町村長宛 內務部長通牒

標記ノ件ニ關シ傷病兵ニシテ增加恩給(傷痍恩給)又ハ賑恤金、下士兵卒又ハ傷病兵ノ遺族ニシテ軍人恩給法第二十八號第一第二號ニ依ル扶助料金額ヲ受ケタルコトアル者ニアリテハ其傷痍若ハ疾病ノ原因戰闘又ハ公務ニ基因シタルコト明瞭ナルモ其ノ他ノ場合ニ在リテハ傷病ノ原因カ法第二條ニ該當スルヤ否ヤハ不明ニシテ詮議上必要有之候條原因不明ノ傷病兵ニ關シテハ施行細則第二條ノ救護調書ノ外ニ尙左記事項ノ調書ヲ添付シ進達可相成候様其筋ヨリ通牒有之候ニ付右ニヨリ取扱ハレ度

記

- 一、傷病兵ノ場合
  - 一、元官等級氏名
  - 二、本籍地及住所
- 三、徵集年(應召年月日)及入隊(所屬部隊)
- 四、傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル年月日其ノ種類及場所
- 五、兵役免除トナリタル當時ノ部隊號若ハ入院セシ病院名及兵役免除ノ年月日
  - 一、官等級氏名
  - 二、下士兵卒遺族ノ場合
  - 二、本籍地及住所
  - 三、徵集年(應召年月日)及入隊(所屬部隊)

第三類 軍事救護ニ關スル件

五



第三類 軍事救護ニ關スル件

- 四、傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル年月日並ニ其ノ種類場所及死歿ノ年月日
- 五、特別賜金ヲ受ケタルコトノ有無
- 三、下士兵卒家族ノ場合
  - 一、官等級氏名
  - 二、本籍地及住所
  - 三、徵集年(應召年月日)
  - 四、入隊又ハ所屬部隊號

沿革

公共團體經營住宅用地登録稅免除ノ件

大正十一年三月二日地第九八一號ノ一  
市町村長宛 內務部長通牒

標記ノ件ニ關シ別紙甲號ノ通り照會アリタルニ付乙號ノ通り回答アリタル旨其筋ヨリ通牒有之候條爲參考及通知候也

記

甲號

大正十一年 月 日

某縣知事

內務大臣宛

市營住宅用地買收登錄稅ニ關スル件

某市ハ今般住宅緩和政策ノ一トシテ市營住宅建設ノ爲目下用地買收中ノ處之カ所有權移轉ノ登記ニ關シテハ該用地ノ用途ハ市ニ於テ社會的施設トシテ市民一般ニ提供ス可キ住宅ヲ建設スルニアルヲ以テ登録稅法第十九條第二號ノ所謂「府縣、郡、市、町村、其他公共團體ニ於テ公用ニ供スル不動産ノ登記又ハ登録」ニ該當スルモノト被存殊ニ市營住宅ハ社會的施設中最モ緊要ナル事業ナレハ之カ獎勵政策トシテモ此ノ如ク解釋スルヲ最モ妥當ト認メ候條同條ニ依リ登録稅ヲ課セサルコトニセラレ度之カ當事者タル同市ニ於テ目下施設上支障ヲ生シ居候場合ニ付至急何分ノ御示達相仰度此段及稟請候也

乙號

司法省 民事第三五一號  
民事局

大正十一年二月七日

第三類 公共團體經營住宅用地登録稅免除ノ件



第三類 公共團體經營住宅用地登錄稅免除ノ件

司法省民事局長

八

內務省社會局長心得宛

公共團體經營住宅用地登錄稅免除ニ關スル件回答

標記ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承右ト同一趣旨ノ件ニ付別紙甲號ノ通り大藏省主稅局長ヨリ照會有之乙號ノ通り回答致候同時ニ其旨各地方裁判所長へ通牒致置候間右ニテ御了承相成度此段及回答候也

司法省民事局 民事第二六九號

大正十一年二月三日

司法省民事局長

地方裁判所長宛

別紙甲號大藏省主稅局長照會ニ對シ乙號ノ通り回答致候間爲御參考此段及通牒候也

別紙

(甲號)

藏第六九六號

大正十一年一月廿五日

大藏省主稅局長

司法省民事局長宛

市町村營住宅敷地ニ對スル所有權取得ノ登錄稅課否取扱方ニ關シテハ大正九年四月大垣及伊丹區裁判所對貴局御回答ノ趣旨ニ依リ課稅スルコトニ取扱相成居候趣兵庫及富山縣知事ヨリ申出有之候處元來市町村ノ住宅經營ハ住宅不足ノ緩和及其他細民救濟ノ爲ニスル社會政策的施設ノ目的ニ出ツルモノニ有之從テ其經營ニ於テ毫モ收益ノ目的トセサルモノナルニ於テハ登錄稅法第十九條第二號ニ該當スルモノトシテ取扱フヲ

相當ト被存候ニ付右ニ依リ御取扱相成候様致度此段及照會候也

乙號

司法省民事局 民事第二六九號

大正十一年二月三日

司法省民事局長

大藏省主稅局長宛

登錄稅法ニ關スル件

本年一月廿五日藏第六九六號御照會ノ件ハ貴見ノ通ト思考致候此段及回答候也

第三類 公共團體經營住宅用地登錄稅免除ノ件

九



方面委員事務取扱方等ニ關スル件

大正十二年二月廿三日地第五三六五號一  
市町村長宛 學務部長通牒

標記ノ件ニ關シ別紙之通り其筋ヨリ通牒有之候條部内ニ於テ必要ト認ムル地方ニハ精々方面委員ヲ設置シ職務執行ノ資料ニ供セシメラレ度此段及移牒候也

記

方面委員戶籍事務取扱方ニ關スル件

大阪府方面委員及ヒ岐阜縣奉仕委員ノ職務執行ノ必要上戶籍簿、除籍簿又ハ寄留簿ノ閱覽若クハ其謄抄本ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テハ手数料又ハ郵送料ヲ徴セサルモ差支無之旨司法省ニ於テ決定相成候ニ付テハ類似ノ委員ニシテ同様決定ヲ受ケ度向ハ該委員規程ヲ添付直接司法省民事局長宛申請候様致度爲念  
社第一一八九號

戶籍法違反者ニ對スル過料免除ニ關シ司法當局ノ諒解ヲ求ムル件

本縣ニ於テハ大正十年八月別紙規程之通り奉仕委員制度ヲ實施シ細民階級ノ生活狀態ヲ調査候所戶籍法違反者往々ニシテ發見セラレ就中都市ノ細民地區及地方部落民中多數有之是レカ整理ニ着手セシ 法定届出期間遲延ノ結果監督區裁判所ニ於テ過料處分ヲ受クルノ餘義ナキニ至リシモノ不辭候而シテ是レカ原因ハ主トシテ住民ノ多數カ智識程度ノ低級ナルト法規上ノ手續ヲ識ラサルト必迫セル生活狀態ト相俟テ無意識ニ放任スルニ至ルモノニシテ其間大ニ宥恕酌量ス可キ廉有之者ト認メラレ候且奉仕委員カ戶籍整理ノ目的ト細民階級者ノ保護救済ノ爲メ指導活躍スル結果法規違反ヲ摘發シ過料ヲ課セラル、者續出セハ自然奉仕委員ニ於テモ今後戶籍整理事項ノ取扱ヲ躊躇セサルヲ得サル事ト相成甚タ遺憾ノ至リト被存候ニ付此點ニ付穩當ナル解決ヲ得候様司法當局ヘ交渉方可然御配慮相煩度此段及御依頼候也

第三類 方面委員事務取扱方等ニ關スル件



第三類 方面委員事務取扱方等ニ關スル件

大正十一年十二月一日

一二

岐阜縣知事

內務省社會局長官宛

司法省  
民事局 民第四七五〇號

大正十二年一月十一日

司法省民事局長

社會局第二部長宛

戶籍法違反者ニ對スル過料ニ關スル件

大正十一年十二月十五日附岐二部第一號御照會ノ件ニ付テハ御申越ノ趣各裁判所へ移牒致置キ候條此段申  
達候也

沿革

社會事業ニ關スル委員設置ノ件

大正十二年二月廿四日地第一〇八〇號

市町村長宛 學務部長通牒

社會狀態並生活狀態ヲ調査シ其改善ヲ圖リ生活安定ヲ期セシムルハ社會事業ノ根本ニ有之從ツテ之レカ目  
的ヲ達スル爲ニハ各種ノ施設ヲ要ス可キト雖モ個々ノ民衆生活ノ實際ニ潜在セル缺陷ヲ查察シ救濟ノ途ヲ  
啓クカ如キハ其ノ施設ノ一ニ有之候然シテ此等缺陷ヲ調査シ救濟ヲ徹底的ナラシムルニハ實ニ右委員機關  
ノ設置ト活動ニ俟ツヘキモノ多シト被認候既ニ大阪府及岐阜縣、埼玉縣ニ於テハ方面委員奉仕委員、福利  
委員ノ名稱ヲ以テ之ヲ設置シ委員ノ活動ニ依リ無告ノ窮民ヲ救濟セシ事例等不尠其成績誠ニ良好ニ有之趣  
ニ付別紙要綱ニ依リ委員ヲ設置シ社會狀態ノ真相ヲ調査研究シ社會改善ノ方策ヲ講スル様措置相成度及通  
達候也

記

社會事業ニ關スル委員設置要綱

- 一、社會狀態及生活狀態ヲ調査シ其ノ改善ヲ圖リ生活ノ安定ヲ期スル目的ヲ以テ必要ト認ムル地域ニ委員  
ヲ設置スルコト
- 二、委員ヲ設置スヘキ地域及其ノ員數ハ地方ノ事情ニ依リ適當ニ之ヲ定ムルコト
- 三、委員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ中ヨリ知事之ヲ囑託スルコト
  - イ、社會事業關係者
  - ロ、教育關係者
  - ハ、市町村吏員
  - ニ、警察官吏

第三類 社會事業ニ關スル委員設置ノ件

一三



第三類 社會事業ニ關スル委員設置ノ件

- ホ、醫師及產婆
- ハ、神職僧侶及諸宗教師
- ト、其他適當ト認ムル者
- 四、委員ハ名譽職トシテ優遇スルコト
- 五、委員中ヨリ常務委員ヲ置クコト
- 六、適當ノ場所ニ事務所ヲ設ケ必要ニ應ジ書記ヲ置クコト
- 七、委員ハ關係地區内ノ狀況ヲ詳ニシ凡ソ左ノ調査及實行ニ從事スルコト
  - イ、關係地區内ノ一般的生活狀態ヲ調査シ之カ改善向上ノ方法ヲ講究スルコト
  - ロ、要救護者各個ノ狀況ヲ調査シテ之ニ對スル救濟方法ノ適否ヲ講究シ其徹底ニ努ムルコト
  - ハ、現ニ存在スル社會的施設ノ適否ヲ調査シ其ノ地域内ニ新設ヲ要ス可キ施設ヲ講究スルコト
  - ニ、日用品ノ需給狀態ヲ調査シ生活安定ノ方法ヲ講究スルコト
  - ホ、其他調査實行ヲ委囑セラレタル事項
- 八、委員ノ事務ノ聯絡統一其ノ他事務執行上必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ムルコト

沿革

廢兵院收容申請書進達ニ關スル件

大正十二年四月二十一日地第二一七〇號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

廢兵院法施行規則第二條ニ依リ收容志願者ヨリ申請書ヲ受理シタルトキハ左記調査事項ニ依リ調査ヲ作製  
添付シ收容ノ要否ニ付意見副申進達相成度

記

調査事項

- 服役ヲ免セラレタル時ノ官等級
- 公務ニ基因スル症項
- 恩給額
- 資産
- 勞務
- 扶養義務者其他救護ヲ爲ス者
- 其素行
- 元何官 何卒何兵
- 軍人恩給法第九條第何項(戰闘又ハ公務ニ)
- 退職又ハ免除恩給
- 増加恩給
- 資産ノ種類及收入一ケ年見積額
- 從來ノ職業及其ノ所得見積額
- 扶養義務者身分職業及資産其他扶養ニ關スル一切ノ事項
- 平素ノ素行及犯罪處刑ノ有無
- 家族ノ人員年齡職業及其他生活ニ關スル一切ノ事項

第三類 廢兵院收容申請書進達ニ關スル件



沿 革

行旅病人ニシテ傳染病ニ罹リタル者ノ  
取扱費用區分ニ關スル件

大正十二年五月廿一日地第二五五〇號ノ二  
市町村長宛 内務部長通牒

標記ノ件ニ關シ勝浦郡長ノ問合ニ對シ乙號ノ通り回答致候條參考トシテ及通牒候也  
別紙甲號

庶第三〇八號

大正十二年五月五日

德島縣内務部長宛

德島縣勝浦郡長

行旅病人取扱費用ニ關スル問合ノ件

客月二十五日町村吏員修養會ニ於テ別紙事項協議ニ關シ疑義相生シ候ニ付御回報相成度此段問合候也  
別紙

一行旅病人ニシテ傳染病ニ罹リタル者ノ取扱費用區分ノ件

傳染病豫防上必要ナル費用ハ傳染病豫防法第二十一條ニ依リ市町村ノ負擔トシ其他ノ費用ハ行旅病人及  
同死亡人取扱法ニヨリ扶養義務者ノ負擔ニ屬スルモノナリヤ

乙號

地第二五五〇號ノ一

大正十二年五月二十一日

勝浦郡長宛

德島縣内務部長

第三類 行旅病人ニシテ傳染病ニ罹リタル者ノ取扱費用區分ニ關スル件

一七



第三類 行旅病人ニシテ傳染病ニ罹リタル者ノ取扱費用區分ニ關スル件

一八

行旅病人取扱費用ニ關スル件回答

本月五日庶第三〇八號ヲ以テ問合相成候標記ノ件ハ御見込ノ通り但シ傳染病院入院中ノ食費及藥價ハ相當實力アル者ニ限り負擔セシメ處理ス可キ義ト存候條右様御了知相成度

沿革

労働者教育事業ニ關スル件

大正十二年六月廿日地第三三五二號

市町村長宛 内務部長通牒

近時労働問題ノ喧傳セラル、ニ伴ヒ労働者教育ニ關スル各種ノ施設漸ク多キヲ加ヘントスル傾向有之候様認メラレ候ニ付テハ此際労働學校其他労働者教育ニ關スル事業ヲ別表(一)ニ依リ調査ノ上有無來ル七月五日迄ニ回報相成度尙新設廢止其他異動ヲ生シタル場合ハ其都度通報相成度候  
 追テ労働團體小作人團體ニシテ本年一月以降労働講習會等ヲ開催シ居ルモノニ對シテハ此ノ際別紙(二)ニ依リ回報相成度候

記

(一) 労働者教育事業調

學校ノ名 場所及 規模ノ概 要	經營者 ノ氏名 及生年 月略歴	労働團體等ノ經營ニ係ルモノ (ハ労働團體名ノミニテ可ナリ)	創 立 年 月 日	目 的	資 金 及 法 律 方 格	資 入 格 學	一 月 及 謝 入 額	學 費 額	年 報 名	町	村	日	報	名	收 容	
															豫 定 人 員	現 在 人 員
															人	人

第三類 労働者教育事業ニ關スル件

一九



第三類 労働者教育事業ニ關スル件

感動ノ 模様	影響	其ノ他ノ 状況

第三類 労働者教育事業ニ關スル件

講師ノ 氏名 職名 擔目	講習 期	講習 場所	講習 回数	講習 出席者 數	主體 名	現 在 狀 況	修業年限		教授 科目
							自 年 月	至 年 月	
					(二) 労働團體主催ノ講習會調 (小作人團體)		自 年 月	至 年 月	
							年 間	年 間	
									講師ノ 職業略 歴及擔 當科目

年 町月 村日 名



沿革

軍事救護ニ關スル件

傷病兵中軍事救護ヲ要スル者ノ收入ヲ算定スルニ當リテハ増加恩給ニ付テハ爾今其ノ二分ノ一ノ額ヲ收入ト看做シ計算スル事ニ相成候條了知相成度候也

大正十三年一月十一日 地第三三號ノ一  
庶第四七號  
市町村長宛 内務部長 通牒

第三類 軍事救護ニ關スル件



大正十四年一月二十四日地第八五號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒  
近時市町村ニ於テ細民救済ノ目的ヲ以テ質屋ヲ經營スルモノ有之候處右ハ市町村ノ營造物ナルヲ以テ之カ  
使用料ニ付テハ條例ヲ以テ規定セサルヘカラサルニ拘ラス往々之カ手續ヲ履踐セサルモノ有之候趣ヲ以テ  
注意方其ノ筋ヨリ通牒有之候條將來新ル向無之様致度爲念及移牒候也

沿革

公營質屋ニ關スル件

近時市町村ニ於テ細民救済ノ目的ヲ以テ質屋ヲ經營スルモノ有之候處右ハ市町村ノ營造物ナルヲ以テ之カ  
使用料ニ付テハ條例ヲ以テ規定セサルヘカラサルニ拘ラス往々之カ手續ヲ履踐セサルモノ有之候趣ヲ以テ  
注意方其ノ筋ヨリ通牒有之候條將來新ル向無之様致度爲念及移牒候也

大正十四年一月二十四日地第八五號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒



沿  
革

社會事業ニ關スル刊行物繼續送付ノ件

大正十四年二月廿七日地第四二九號ノ一

沿  
革

社會事業ニ關スル刊行物繼續送付ノ件

大正十四年二月廿七日地第四二九號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

貴町村内ニ於ケル社會事業團體ノ刊行ニ屬シ相當參考資料ニ足ルヘキ月報旬報週報ノ如キ定期刊行物有之候ハ、自今發行ノ都度二部宛御送付相成度及通牒候也

第三類 社會事業ニ關スル刊行物繼續送付ノ件



沿革

公益質屋調ノ件

大正十四年七月十六日地第一六一六號ノ二  
市町村長宛 内務部長通牒

標記ノ件將來新設ノ場合ハ其ノ都度左記様式ニ依リ尙又廢止ノ場合ハ其旨直チニ報告相成度候  
記

公益質屋調

名稱	位置	經營主體		坪	建設費	坪	建設費	坪	時價額	坪	給料	給料	坪	坪	坪
		開年	設日												
事務所	棟	造	階建	坪	建設費	坪	建設費	坪	時價額	坪	給料	給料	坪	坪	坪
倉庫	棟	造	階建	坪	建設費	坪	建設費	坪	時價額	坪	給料	給料	坪	坪	坪
敷地															
職名	人員	員	一人	當	給料	給料	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪
從業員															
融通資金			財源	借入金ナルトキハ先											

第三類 公益質屋調ノ件







沿革

少年職業紹介ニ關スル件

大正十四年七月十六日地第一八六八號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

少年ノ職業紹介ニ關シテハ特ニ其ノ性質及能力ノ最モ適應スヘキ職業ニ就カシムルコトハ職業指導上緊切ノ事ニ有之且將來失業ノ機會ヲ少カラシムル上ニ於テモ其ノ效果尠カラサルモノト認メラレ候ニ就テハ小學校卒業後直ニ求職セムトスル者ニ對シテハ各自ノ性質及能力ニ付最モ精通スル小學校ト職業ノ狀況ニ通スル職業紹介所ト相互聯絡ヲ保チ提携協力シテ適當ナル職業ヲ選擇指導セシムル様其ノ筋ヨリ依命通牒有之候條大體左記ノ如キ施設ヲ講スル等相當御配慮相成度

記

- 一、少年ノ職業選擇指導ノ爲小學校教員職業紹介所職員醫師其ノ他ト密接ナル聯絡ヲ圖リ必要ナル場合ニハ之等ノ者ヨリ組織スル委員會ヲ設置スルコト
- 二、小學校ハ小學校卒業後職業ニ從事セムトスル者ニ付必要アルトキハ卒業前本人ノ學業、體格、性質其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ職業紹介所ニ通報スルコト
- 三、職業紹介所ハ各職業別ニ依ル勞務需給ノ狀況及求人口ヲ小學校ニ通報スルコト
- 四、求職少年ノ父兄會等ヲ開催シ本人ノ性質能力ニ適スル職業ノ選擇ニ付指導誘掖スルコト
- 五、職業選擇ニ付指導シタル結果其ノ職業ニ就職シタル者ニ關シ職業紹介所ハ時々其ノ就職後ノ狀況ヲ調査シ之ヲ關係小學校ニ通報スルコト

第三類 少年職業紹介ニ關スル件



沿革

廢兵院收容申請書進達ニ關スル件

大正十四年七月二十七日地第一八一九號ノ三  
市町村長宛 内務部長通牒

標記ノ件ニ關シ大正十二年四月二十一日地第二二七〇號ノ一ヲ以テ通牒致置候處右通牒中調査要項ハ爾今  
左記事項改訂追加ノ上調製相成様致度

記

調査要項中

一、公務ニ基因スル症項

「軍人恩給法第九條第何項」トアルヲ「恩給法施行令第二十四條第何項症第何號」ト改ム  
一、扶養義務者其他救護ヲ爲ス者ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

軍事救護

現在ニ於テ軍事救護ヲ受ケ居ルヤ否ヤ其ノ救護ノ種類及程度

第三類 廢兵院收容申請書進達ニ關スル件



住宅組合ノ組合員調書等記載方ノ件

大正十四年十月三日地第三三八二號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

住宅組合法施行細則第一條及第二條ニ依ル標記ノ件ニ付其ノ筋ヨリ照會有之候條右ニ關シテハ左記事項特ニ御注意相成度候也

記

一、組合員ニ關スル調書

イ、職業ハ可成具體的ニ記載スルコト

例ヘハ官公吏會社員又ハ銀行員等ナレハ奉職先ノ官公署名會社名又ハ銀行名等(何署何縣廳何會社何銀行等)及地位(屬技手雇員支那人書記書記補等)ヲ必ス記シ又其ノ他ノ職業ニアリテモ商業ナレハ何販賣業職工ナレハ大工職木挽職等ノ如ク總テ之ト同様ニ記載スルコト  
ロ、資産中不動産ヲ所有スルモノハ其ノ種類ヲ備考ニ記載シ尙住宅ニアリテハ其ノ所在場所ヲモ記載スルコト

二、事業方法書

出資金總額ト事業費總額トハ寄附金等アル場合ノ外其ノ額一致スヘキコト

第三類 住宅組合ノ組合員調書等記載方ノ件



社會事業從事者獎勵金交付ニ關スル件

大正十五年四月六日地第五三〇號

市町村長宛 内務部長通牒

恩賜財團慶福會ニ於テハ今般社會事業從事者獎勵ノ目的ヲ以テ三十年以上繼續シテ私設社會事業ニ從事シ年齡六拾歲以上ニシテ必要アリト認ムル者ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ年額金七百圓以内(六十歲以上五百圓以内七十歲以上七百圓以内)ノ獎勵金ヲ終身贈呈スルコトト相成候趣ヲ以テ照會有之候條御部内ニ該當者有之候ハ、左記事項ヲ具シ本月二十日迄ニ御内報相成度  
追而自今本文該當者有之候ハ、隨時御内報相成度

記

- 一、本人履歷書
- 二、社會事業ニ對スル効績概要
- 三、資産(土地、建物、預金、貸金等)一ケ年ノ收入(本人ノ分何程家族ノ分何程)家族ノ數、生活ノ狀況  
右ハ可成詳細記載セラレ度尙本人カ家族ナルトキハ戶主又ハ世帯主ノ資産ヲ調査相成度
- 四、刑罰ニ處セラレタルコトノ有無
- 五、獎勵金交付ニ關スル貴職ノ意見



社會事業従事者獎勵金交付ニ關スル件

大正十五年四月二十八日地第五三〇號ノ四  
市町村長宛 内務部長通牒

本月六日地第五三〇號ヲ以テ照會置候標記ノ件ニ關シ恩賜財團慶福會理事長ヨリ別紙ノ通知有之候ニ付  
爲念及移牒候也

十五發第七三號ノ二

大正十五年四月十六日

恩賜財團慶福會理事長

德島縣知事宛

獎勵金交付ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙甲號埼玉縣知事照會ニ對シ乙號ノ通り回答致置候ニ付爲念及通知候也

甲號十五親社收第四六二號

大正十五年四月十三日

埼玉縣知事

恩賜財團慶福會理事長宛

獎勵金交付ニ關スル件

三月三十一日付申越相成候標記ノ件「私設社會事業ニ從事シ云々」ノ「從事」ハ（一）専ラ斯業ニ從事シツ、アルニ依ツテ生活セルモノ、ミノ意味ナリヤ（二）名義上ハ團體代表者又ハ従事者ナルモ他ニ本務ヲ有シ其ノ本務ニ依ツテ生活セル者モ包含可致ヤ否ヤ（三）本務トスルト否トヲ問ハス苟且モ斯業ニ携ハル者ノ總テヲ包含スルモノナリヤ否ヤ疑義有之候條至急何分ノ御回答相煩度

第三類 社會事業従事者獎勵金交付ニ關スル件



第三類 社會事業従事者獎勵金交付ニ關スル件

四二

乙 號

十五發第七三號ノ一

大正十五年四月十六日

埼玉縣知事宛

恩賜財團慶福會理事長

私設社會事業従事者ニ關スル件

四月十三日十五親社收第四六二號ヲ以テ私設社會事業従事者ノ意義ニ付御問合ノ次第モ有之候處右ハ斯業ヲ本務トセル者ノ意味ニ有之從テ名義上ノ従事者ノ如キハ包含セサル儀ト御了知相成度此段御回答申上候

敬具

沿革

職業紹介所利用ニ關スル件

大正十五年五月廿四日地第八九二號ノ一

市町村長宛

内務部長通牒

輓近知識階級ニ屬スル失業者漸増ノ傾向アルニ鑑ミ此際更ニ一層職業紹介機關ノ内容整備ニ努メツ、アル趣ヲ以テ其ノ筋ヨリ通牒有之候ニ付テハ貴役所役場並諸官衙等ニ於テ雇員ハ勿論職員採用ノ場合ハ努メテ職業紹介所ヲ利用相成様致度

第三類 職業紹介所利用ニ關スル件

四三



沿革

融和事業ノ徹底ニ關スル請願ノ件

大正十五年六月八日地第一〇二五號ノ一  
市町村長宛 内務部長通牒

客年五月十六、十七日兩日ニ亘リ財團法人中央社會事業協會主催全國融和事業大會ニ於ケル決議事項ノ實行方ニ關シ過般該協會長子爵澁澤榮一ヨリ内務大臣宛請願ニ依リ右請願事項中左記司法省主管ニ屬スル事項ニ關シテハ之ニ對スル司法當局ノ意見社會局ヨリ照會中ノ處別紙寫ノ通回答有之候趣ヲ以テ通牒有之候條右御了知ノ上可然御配意相成度

請願事項

第五 戶籍制度實施前ニ於ケル戶籍簿中賤稱アル部分ヲ改寫シ原本ヲ燒却セラレタキコト

理由

明治ノ初年新ニ戶籍編成ノ際地方ニ依リテハ戶籍吏ノ無理解ニ起因スル過失ニ據リ族籍ヲ記載スルニ方リ平民ト記スヘキ箇所ニ元籍多ト記載セルモノ往々ニシテアリ此ノ如キ舊戶籍カ現存スル爲メ其ノ原本ヲ受ケタル場合元籍多ノ文字ノ爲メニ一身ト多大ノ打撃ヲ蒙リシ例尠カラサルヲ以テ市町村役場其ノ他關係官署ニ現存スル戶籍簿中是等誤記ノ部分ヲ改寫シ原本ヲ燒却スルカ又ハ其他ノ方法ニ據リ適當ノ措置ヲ講スルコトノ急務ナルヲ認ム是レ本項ノ要アル所以ナリ

司法省民事局民事第一〇一九六號

大正十五年一月二十二日

司法次官

社會局長官長宛

第三類 融和事業ノ徹底ニ關スル請願ノ件

四五



第三類 融和事業ノ徹底ニ關スル請願ノ件

四六

客年十一月十八日附東二部第四八一號移牒標記ノ件中第五項ニ就テハ現行法令ノ下ニ於テハ請願旨趣ノ如ク當該部分ノミノ改寫ヲ爲スコトヲ得サルモ戶籍法第八十五條ノ規定ニ從ヒ該戶籍ノ改製ヲ爲スハ差支ナク又既ニ當省先例トシテハ戶籍法第三十九條第二項末段ノ規定ニ準シ當該文字ヲ市町村長ノ職權ニテ抹消スルコトヲ得セシメタルノミナラス右抹消ノ如何ニ拘ハラズ該戶籍ノ謄本若ハ抄本ニハ當該文字ノ謄寫ヲ省略シテ交付スヘキコトニ相成居候條左様御承知相成度候也

參 考 戶籍沿革

第三十九條 戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコト又ハ其ノ記載ニ錯誤若クハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ市町村長ハ遲滯ナク届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス但其ノ錯誤又ハ遺漏カ市町村長ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス  
前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ通知ヲ爲シタルモ戶籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキハ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得前項但書ノ場合亦同シ裁判所其他ノ官廳檢事又ハ吏員カ其職務上戶籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク届出事件ノ本人ノ本籍地ノ市町村長ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス  
第八十五條 舊法ノ規定ニ依リテ改製セサリシ戶籍ハ司法大臣ノ命スル所ニ依リ本法ノ規定ニ依リテ之ヲ改製スルコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ從前ノ戶籍ニ依リ其事實ヲ知ルコト能ハサルモノハ其記載ヲ省クコトヲ得

沿革

地方改善事業中育英獎勵者ノ退學轉學ニ關スル件

大正十五年七月十三日社第一三四號ノ一

市町村長宛

學務部長依命通牒

近時標記育英獎勵者ニシテ往々本人限り退學又ハ轉校スル者アルモ右ハ本事業開始當初各適格者ニ就キ慎重證據ノ上決定シ夫々獎勵實施中ノ者ニ有之候次第付將來ハ當廳ノ承認ヲ受ケシムルコト、相成候條右了知ノ上事前ニ於テ退學又ハ轉學ノ事由並轉學ノ場合ハ本事業ノ趣旨ニ鑑ミ更ニ轉學セムトスル學校ノ適否ニ關シ詳細調査ノ上意見ヲ具シ進達相成度

第三類 地方改善事業中育英獎勵者ノ退學轉學ニ關スル件

四七



地方改善施設費補助申請ニ關スル件

大正十五年七月二十六日社第一八三號ノ一  
市町村長宛 學務部長 逓陳

標記ノ件ニ關シ將來共同浴場理髮所託兒所授産場等ノ建設又ハ産業的施設其ノ他ニシテ收入ヲ伴フ事業ヲ  
計劃セラレタル場合ニ於テハ從來提出相成居候關係書類以外更ニ左記事項ヲ説明シタル圖書ヲ各事業毎ニ  
作製ノ上提出相成度

記

- 一、事業完成後ニ於ケル經營方法(詳細)
- 二、一ケ年間收支見積並純益若ハ經費不足ニ對スル措置
- 三、機械器具等ノ貸付ニ關シテハ其ノ貸付條件

第三類 地方改善施設費補助申請ニ關スル件



方面委員制度ニ關スル件

大正十五年十一月十日社第四〇〇號ノ二  
市町村長宛 學務部長通牒

公私社會施設ノ報告方ニ關シテハ本年七月九日德島縣訓令第七十五號ヲ以テ訓令相成候處爾今方面委員制度ニ付テハ其ノ新設ノ際ハ左記各項目ニ就キ廢止變更ノ際ハ其ノ事由ヲ具シテ速ニ報告相成度尙毎年ノ事業狀況ヲモ左記各項目ニ就キ翌年二月末日迄ニ報告有之度(但シ前年度報告ト變化無キ事項ニ付テハ前年通ト記入ノコト)

記

- 一、名稱
- 二、設置沿革(設置後増設等アラハ其ノ旨ヲモ記入ノコト)
- 三、設立主體(市町村社會事業協會等ノ如シ)
- 四、施行行政區域(市町村ノ一部、全市町村等ノ如シ)
- 五、設置方面數及區劃標準(區劃標準トハ一小學校通學區域警察署管轄區域等ノ如シ)
- 六、委員數
- 七、委員及役員ノ種類(方面委員常務委員、理事、囑託委員顧問等ノ如シ)
- 八、委員及役員ノ選任又ハ囑託ノ方法
- 九、任期ノ有無(有任期ノ場合ハ其期間)
- 十、補助吏員設置ノ有無(市町村等ニ於ケル方面事務ノ專任吏員囑託產婆等ノ如シ)
- 十一、委員聯絡ノ方法(委員會常務委員會開催等ノ如シ)
- 十二、方面事務所設置狀況

第三類 方面委員制度ニ關スル件



第三類 方面委員制度ニ關スル件

- 十三、設置市町村全世帯數
- 十四、設置區域世帯數及現在取扱世帯數
- 十五、委員一人當擔當世帯數
- 十六、最近一年間取扱件數(種類別)
- 十七、經費支出ノ方法並豫算又ハ決算報酬又ハ俸給(經費支出方法ハ市町村資助成團體ノ有無等)
- 十八、事業報告調査票其ノ他ノ印刷物アラハ最近ノモノ

沿革

軍事救護ニ關スル件

大正十五年十二月二十一日社第六七三號ノ一  
 市町村長宛 學務部長通牒

軍事救護法ニ依リ救護中ノ現役兵家族ニシテ精神病者監護法第六條ニ依リ監置セラレタル者ノ監護費ハ本人カ軍事救護法第五條ノ該當者ナル限りハ同法ノ醫療救護ニ依ルヘキ旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條了知相成度

第三類 軍事救護ニ關スル件



引取者ナキ死胎ノ取扱方ニ關スル件

昭和二年一月十三日社第七七五號ノ一  
市町村長宛 學務部長依命通牒

從來引取者ナキ死胎ハ行旅病人及行旅死亡人取扱法ニ依リテハ取扱フコトヲ得サルモノト相成居候處客年十二月二十九日内務省令第三號ヲ以テ本法ニ依ル明治三十二年六月十九日内務省令第二十三號行旅病人行旅死亡人及同伴者ノ救護並取扱ニ關スル件改正ノ結果引取者ナキ死胎ハ行旅死亡人ニ準スルモノトシテ取扱フコトト相成候爾今右ニ依リ取扱相成様致度

第三類 引取者ナキ死胎ノ取扱方ニ關スル件



恤救規則ニ關スル件

昭和二年三月十一日社第二〇五號ノ一  
市町村長宛 學務部長通牒

明治七年十二月八日太政官達第百六十二號恤救規則ノ適用ニ關シ左記ノ通解釋ノ上取扱相成度此段及通牒  
候也

記

- 一、恤救規則第一號中ノ癱疾トハ終身活癒ノ見込ナキ心身ノ障礙ニ依リ勞務ニ服シ得サルモノヲ謂フ從テ  
年齡基因ノ如何ヲ問ハス癱疾ニ罹リ産業ヲ營ム能ハサル者ハ本號ニ該當スルモノトス
- 二、同第一號中癱疾ニ罹リトアルハ先天的ニ不具ナルモノヲ包含セサルモノト解スヘキモ先天的不具者ト  
雖事實癱疾ニ罹リタル者ト何等異リタルコトナキ場合ハ同規則中ニハ之カ救助ノ明文ナキモ癱疾ニ準シ  
救助スルコトハ本規則ノ精神ナリトス



317  
415

昭和三年三月二十五日印刷  
昭和三年三月二十八日發行

德 島 縣

大坂市此花區上瀨島南二丁目二六二  
中島印刷工場  
印刷者 中島政藏  
電話土佐番二六七〇番



